

2019年度 文教大学国文学会

第19回冬の研究発表会

11月30日(土) 13:00-17:00

第一部受付開始12:30～

◆第一部 研究発表会◆ 13:00-14:20 13403R

文教大学大学院言語文化研究科

* 渡邊 千晶

「『青踏』以前の〈女性〉について—清水紫琴を中心に—」

* 伊藤 美佳

「梶井基次郎論」



※第二部受付開始14:00～

◆第二部 古典芸能鑑賞会◆ 14:40-17:00 13401R

知られざる活弁の世界

「チャップリンの冒険」「善光寺縁起」

活弁ワークショップ「国定忠治」



© 戎康友

麻生 ^や ^た 八 咫 氏
^こ ^や ^た
子八咫 氏

解説・紹介：日沖 敦子

<活弁とは> 映画がまだ活動写真と呼ばれていた頃、スクリーンの脇で、映画の解説をする弁士がいました。当時、文明の先端を走っていた映画フィルムにも、日本人は独特の「語り」をつけることにより、自分達のより親しめる、より楽しめる‘かたち’にするという知恵をみせました。それが「活弁」です。

<https://katsuben.com/whats-katsuben/> より抜粋

文教大学国文学会事務局

お申し込み・問い合わせ先 **入場無料**

文教大学国語・日文研究室 Tel・Fax：048-974-8965(月～金 9:00-17:00)

メール：nichijun@koshigaya.bunkyo.ac.jp

※お名前、ご住所、お電話番号、参加人数を明記の上、
上記電話、ファクス、メールのいずれかにてお申し込みください!!

なお、駐車場がございませんのでご来場には公共交通機関をご利用ください。

